

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
専門学校 九州ビジュアルアーツ		平成9年3月31日		稲實 洋祐		〒812-0011福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24 (電話) 092-474-9233																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人Adachi学園		昭和42年1月12日		安達 暁子		〒101-0062東京都千代田区神田駿河台2丁目11番地 (電話) 092-4747-9233																			
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																		
文化・教養	映像音響専門課程		音響学科			平成10年文部科学省 告示179号	-																		
学科の目的	音響、照明、レコーディングや作曲、イベントプロデュース、ミュージシャンなど、音楽業界の様々な職種専門技術を養う。現場で使える技術を身につけ、プロ仕様の機材の扱い、実践的な技術の知識を習得し、音楽業界で即戦力となる人材を育てることを目的とする。																								
認定年月日	平成30年2月27日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	1920時間	2048時間	5408時間	-	-	-	7456単位時間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
160	167人	0	5	12	17																				
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学科毎に試験、演習成果、出席状況等を総合的に勘案して行う。																				
長期休み	■夏季:7月21日~8月31日 ■冬季:12月20日~1月9日 ■冬季:3月10日~4月4日			卒業・進級 条件	卒業規定単位取得 卒業規定による履修時間数を履修すること 学費を完納すること																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者は保護者面談を設ける			課外活動	■課外活動の種類 吹奏楽、野球など ■サークル活動: 有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) Sony Music Records/西日本シミズ/四季/ハウステンボス/エスエールアイ他 ■就職指導内容 1年次キャリアガイダンスの授業にて希望業界、職種を明確にし、 企業研究や情報収集を行い、面接訓練など試験対策を実施している ■卒業生数: 81人 ■就職希望者数: 81人 ■就職者数: 81人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他: (令和元年度卒業生に関する 平成32年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞台機構調整技能士 3級</td> <td>②</td> <td>35</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>フルハーネス型墜落 制止用器具特別教育</td> <td>③</td> <td>50</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>足場の組立て等特別 教育</td> <td>③</td> <td>53</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	舞台機構調整技能士 3級	②	35	19	フルハーネス型墜落 制止用器具特別教育	③	50	47	足場の組立て等特別 教育	③	53	53
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
舞台機構調整技能士 3級	②	35	19																						
フルハーネス型墜落 制止用器具特別教育	③	50	47																						
足場の組立て等特別 教育	③	53	53																						
中途退学 の現状	■中途退学者 12名 平成31年4月1日時点において、在学者159名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者147名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 精神的理由・学習意欲の喪失など ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携			■中退率	8%																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科の ホームページ URL	https://www.kva.ac.jp/course/sound/																								

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 教育課程の編成については、企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行い、編成・改善を行う。
 協議内容は、授業科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、業界の走行をふまえ、働くために必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業(知識・技術)を主体に行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法人Adachi学園理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、専門学校九州ビジュアルアーツの教育活動の状況に関する評価を行い、教育活動の更なる躍進の為活動をするものである。教育課程編成委員会が出された意見を基に、専任教員で行う学務会議で其々の意見を審議し、即時対応できるものは学科長がカリキュラムやスケジュールに落とし込む。校長及び学務責任者で、学科間の調整を図り、各学期の始めに行われる講師会及び各学科の分科会で、学校・学科の方向性を示し、授業に反映させていく。問題が生じた場合は随時対応し、より良いものに変更を加えていく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
稲實 洋祐	専門学校九州ビジュアルアーツ 学校長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
大野 涼子	専門学校九州ビジュアルアーツ音響学科担任	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
田中 稔	専門学校九州ビジュアルアーツ 事務長	平成31年4月1日～ 令和5年3月31日	
畑生 武士	株式会社 九州共立	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	③
坂口 安政	九州地区照明音響舞台事業協会	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 ②学会や学術機関等の有識者
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
 (年間の開催数及び開催時期)
 年間2回開催(毎年5月、11月)
 (開催日時(実績))
 第1回 令和元年5月20日(月) 18:00～19:30
 第2回 令和元年11月26日(火)18:30～19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 音響・照明・音楽イベントを専攻する学生は、コンサート設営関係の仕事幅広く求められるという意見から「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」や「足場組立て等特別教育」などの資格の講習を必ず受講するようにしている。国家資格では「舞台機構調整技能士」の3級及び2級を在学中に受けることが可能であるため、カリキュラムに「受験対策」を取り入れ、合格率を上げることで、就職の際に有利に働くように導くことが出来ている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 音響、照明、レコーディング、イベントプロデュースなど、音楽業界の様々な職種の専門技術と知識を養い、企業の方と連携し、学内学での多彩なイベントで本番の緊張感と責任感を学生本人に体験させ、その後出た評価をもとに業界が求める人材育成に努める。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 業界が求める技術レベルや人材を育てるため、実践学習を通し、業界の方から学生への指導に必要な課題内容の検討、今後の業界の動向などの意見交換を行い、カリキュラムへ取り入れる。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
照明実習	ピンスポットの基本操作～複雑な操作フォローの習得	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
ライブ音響基礎	多種類のスポットの名称の習得と構造の理解	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
舞台知識基礎	各分野での幅広い知識の習得と芸術文化及び劇場への理解を深める	株式会社西日本企画サービス

機器概論	アナログ機器、デジタル機器の知識・操作の習得	株式会社西日本企画サービス
Pro tools	Pro tools基礎知識習得	PROJECT FAMIRY

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人Adachi学園の業務に必要な知識及び技能を計画的に教育し、知識、技術、企画力、判断力を持ち合わせた社会人育成を目的としている。『教職員研修規程』に定める基本事項に添った教育研修を行っている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 宗像フェス2019 (連携企業等: 宗像フェス実行委員会)

期間: 2019年9月18日(水)~9月23日(月)

対象: 教員、音響学科学生

内容: 著名アーティストが多く出演する大規模な野外フェスにて舞台・会場設営、音響、照明、運営など、様々な視点で業界が求める人材を知り、指導に取り入れる。

研修名: W杯ラグビー(福岡大会、熊本大会) (連携企業等: 西日本シミズ)

期間: 2019年9月26日(木)~10月6日(日)

対象: 教員、音響学科学生

内容: 国際的なスポーツ大会の運営手法や音響設備、音響効果を学び、国際的な指導から指導に取り入れる。

研修名: SPYAIR BAND TRIAL 2019 (連携企業名: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ)

期間: 2019年10月12日(土)

対象: 教員、音響学科学生

内容: 学内ホールにてプロのミュージシャンのセッションを聴き、一般客参加型のイベント手法に触れ、運営力や指導力向上に繋げる。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権・同和研修会」(連携企業等: 福岡県専修学校各種学校協会)

期間: 2019年11月21日(木) 対象: 教員

内容: 人権と同和に関する講演会

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

令和2年度も昨年と同じ研修を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、全てが中止となりました。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権・同和研修会」(連携企業等: 福岡県専修学校各種学校協会)

期間: 2020年2月25日(火) 対象: 教員

内容: 人権と同和に関する講演会

※なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、開催中止となりました。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係するものと理解促進や連携教育により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用するために、重点課題などを取り上げ、集中した審議を行っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針の策定
(3) 教育活動	キャリア教育の視点に立った教育方法などの実施
(4) 学修成果	キャリア形成の効果を把握し学校の教育活動の改善
(5) 学生支援	卒業後の進路に関する体制の整備
(6) 教育環境	教育上または安全の十分な施設・設備の整備
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組み
(8) 財務	目的・目標に照らした有効かつ妥当な中期計画的な年度予算
(9) 法令等の遵守	法令と設置基準等の遵守と適正な運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献のための学校の教育資源や施設を活用
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- 本校の留学生入学者数が伸びていることに対して、就労目的や偽装留学が目的の留学生が増えているのではないかと指摘があった。そのようなことを避けるためにも学生募集の対象国を広げている。学生を紹介してくれる現地の語学学校担当者との連携をさらに強めていきたい。
- 業界をイメージしにくいことから業界の就職者数や認知度の低下を危惧しているという意見があったことを受け、募集活動において入学後学習する

内容や将来の仕事に関して紹介するだけでなく、入学前の保護者対応にも力を入れており保護者の教育現場への理解にも働きかけている。
 ●社会人としての自覚や責任感を持った上で即戦力になる人を育ててほしいという提言があり、専門技術や知識の修得のほか、コミュニケーション能力向上のために在学中から企業研修等を積極的に取り入れ社会性を養えるよう強化している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	業界団体
荻田 英二	(株) 荻田商業建築デザイン事務所	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
田中 誠二	オリエンタルホテル福岡	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
福島 眞祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区自治会	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	自治会長
藤 厚久	福岡県博多女子高等学校	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
長田 言志	株式会社Too 福岡支店	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
小川 倫恵子	アミ・シュプール	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生
溝江 多佳子	株式会社イクティス	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	学校長が必要と認めた者
後藤 大輔	税理士法人アーク・パートナーズ	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	会計士
吉塚 正希	株式会社映像ボックス	令和元年9月1日～ 令和3年8月31日 (2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.kva.ac.jp/archives/001/202008/KVA学校情報.pdf>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、企業等の学校関係者に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供し説明する等の理解を得るため取り組むを行う事を基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材教養の目標・教育活動計画
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、卒業生数、卒業後の進路
(3) 教職員	各教員の担当科目、校務分掌組織等、教職員の研修・研究活動
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校・学科の行事(イベント)の取組とその評価結果
(6) 学生の生活支援	就職に関する体制、卒業生への支援体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い
(8) 学校の財務	事業報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

パンフレット 募集要項、webサイト

URL: <https://www.kva.ac.jp/archives/001/202008/KVA学校情報.pdf>

授業科目等の概要

(映像音響専門課程 音響学科)														
分類	授業科目名		授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修					自由選択	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	
1	○		ホームルーム	自身の自己分析と業界・分野の理解を深め、現場で即戦力となる人材を目指す。	1 通 2 通	128	8	○			○	○		
2	○		PA実習	PAの基礎的な知識・技術を習得し、様々な現場を想定しPAエンジニアに求められるスキルを総合的に身につける。	1 通 2 通	256	16		○		○	○		
3	○		照明実習	ピンスポットの基本操作～複雑な操作フォローの習得	1 通 2 通	256	16		○		○		○	○
4	○		マーケティング	マーケティングの基本や考え方、重要性を理解し、理論や戦略を学ぶ。	1 通 2 通	256	16	○			○		○	
5	○		PTオペレーション	PRO Tools 基礎知識 習得 操作方法と音声エフェクトについて～録音方法から制作実習	1 通 2 通	256	16		○		○		○	
6		○	ライブ音響基礎	多種類のスポットの名称の習得と構造の理解	1 通	128	8		○		○		○	○
7		○	舞台照明基礎	コンソール基本機能と操作の習得	1 通	128	8		○		○		○	○
8		○	アイデアプランニング基礎	アイデアの引き出し方とプレストの重要性と学び、学内でオリジナル企画のイベントを実施する	1 通	128	8		○		○		○	
9		○	ビジネスマナー	総合的な就活スキルを身に付ける。	1 後	64	4	○			○		○	
10		○	ベクターワークス	ベクターワークスの基本操作の習得	1 後	64	4	○			○		○	
11		○	イベント制作実践	イベント制作の流れと他部署との関わり方を実践的に習得し、実践的なイベントに向けて準備・検証を重ね、自身への課題設定を行う。	1 後 2 通	192	12		○		○		○	
12		○	ITBミキシング基礎	ITB (In The Box) ミキシングの基礎手法を学ぶ	1 通	128	8		○		○		○	
13		○	スタジオワーク基礎	レコーディングスタジオの仕組み、機材について学び、実際のレコーディングも実践してワークフローを身につける	1 通	256	16		○		○		○	

14		○ PTオペレーション基礎	世界標準のDAWである「Pro Tools」のオペレーションを、プロスタジオのワークフローに従って習得。	1 通	128	8		○	○	○				
15		○ アンサンブルオペレート基礎	スタジオではなく、ライブホールでの生演奏の録音・音の扱い方について学ぶ。	1 通	256	16		○	○	○				
16		○ 音楽知識基礎	音楽業界で多様される業界用語や、音楽流通経路を理解する。音楽の歴史や名盤名曲を知り業界のコミュニケーションツールを増やす。	1 通	128	8	○		○				○	
17		○ PAスタッフワーク基礎	現場で求められる基礎技術の習得	1 通	128	8		○	○			○		
18		○ 舞台知識基礎	各分野での幅広い知識の習得と芸術文化及び劇場への理解を深める	1 通	128	8	○			○			○	○
19		○ 電気概論基礎	舞台関連業務で必要最低限な電気に関する知識を習得	1 通	128	8	○			○			○	
20		○ 検定対策	国家資格「舞台機構調整技能士(音響調整作業)3級」取得に向けての対策	1 前	64	4		○		○			○	
合計					20科目		3200単位時間 (200単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件は卒業規程単位の取得・卒業制作の合格条件を満たすこと。 履修方法は各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ライブ音響基礎、舞台照明基礎、アイデアプランニング基礎の内、必ず一つを選択し履修する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(映像音響専門課程 音響学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1			○	機器概論	アナログ機器、デジタル機器の知識・操作の習得	1後	64	4		○		○			○	○
2			○	PA基礎	音響基礎知識・技術の習得	1後	64	4		○		○			○	
3			○	TV照明	テレビ映像照明の基礎・業界一般常識の習得	1通	128	8		○		○			○	
4			○	マネジメント基礎	権利や著作権を理解しマネジメントスキルの基礎を身につける。アーティスト写真を例にプロデュースを実習で学ぶ。	1通	128	8	○			○			○	
5			○	舞台知識	各分野での幅広い知識の習得と芸術文化及び劇場への理解を深め、舞台・ステージ運営や現場を仕切る感覚を身につける。	1通	128	8	○			○		○		
6			○	デジタルベーシック	Illustrator やPhotoshop の使い方を理解し、イベントテーマに沿った宣材物が作れるようになる	1通	128	8	○			○			○	
7			○	リクルート	様々な種類の就職試験に対応できる準備を整える。社会的一般常識の習得と早期内定を目指す。	1通 2通	256	16	○			○		○		
8			○	ライブ音響基礎演習	スタジオではなく、ライブホールでの生演奏の録音・音の扱い方について学ぶ。	2通	128	8		○		○		○		
9			○	ITBミキシング	ITB (In The Box) ミキシングの基礎手法を学ぶ	2通	128	8		○		○		○		
10			○	スタジオワーク	様々な音の特性やスタジオ用語を習得しスタジオアシスタントとしての力とレコーディングの実践によりワークフローを身につける。	2通	256	16		○		○		○		
11			○	PTオペレーション	世界標準のDAWである「Pro Tools」のオペレーションを、プロスタジオのワークフローに従って習得する。	2通	128	8		○		○		○		
12			○	アンサンブルオペレート	ライブホールでの生演奏の録音・音の扱い方について学ぶ。	2通	256	16		○		○		○		

13			○ PAスタッフワーク	後輩への指導を通し、基礎的な知識・技術の確認	2通	128	8		○	○	○			
14			○ Protools	Protools基礎知識習得	2通	128	8	○		○			○	○
15			○ 舞台音響演習	機材管理の必要性の理解とメンテナンス技術の習得、各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得	2通	128	8		○	○			○	
16			○ 音響検定	仕込みからバラシまで時間内に行う(個人検定)	2後	64	4		○	○			○	
17			○ 照明スタッフワーク	シュミレーター習得	2通	128	8		○	○			○	
18			○ 照明デザイン	様々な場所での照明演出の習得	2通	128	8		○	○			○	
19			○ 舞台照明実習	ピンスポットの総合的な操作の習得、ムービング卓の基本操作の習得	2通	128	8		○	○			○	
20			○ 楽曲構成分析	楽曲構成の基本の理解と習得	2通	128	8	○		○			○	
合計					20科目	2752単位時間 (172単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業条件は卒業規程単位の取得・卒業制作の合格条件を満たすこと。 履修方法は各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

授業科目等の概要

(映像音響専門課程 音響学科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1			○	照明検定	仕込み図の理解と調光卓の操作、決められた時間内での作業(個人検定)	2 後	64	4	○			○			○	
2			○	Excel/ Word	officeソフトの基礎知識・技術の習得	2 通	128	8	○			○		○		
3			○	企画制作実践	企画立案からプレゼンまでの流れを理解し、ライブハウスでのイベントを企画し実施する。	2 通	128	8	○			○			○	
4			○	舞台制作演習	舞台やイベントの概要を掴み、集客力や観客の満足度を意識したイベントの実施し、シミュレーション能力の向上と実現までのプロセスをスキル化する。	2 通	128	8	○			○		○		
5			○	運営手法実践	企画したイベント案が実際に運営できるかを分析し、効果的な宣伝方法とスケジュール感覚を身に付ける	2 通	128	8	○			○			○	
6			○	アイデアプランニング実践	新たな演出方法を盛り込んだイベントを構築し実施	2 通	128	8	○			○			○	
7			○	業界進出実践	業界就職に向けたティーチングと個別ヒアリングによる就職指導	2 通	128	8	○			○		○		
8			○	企業研修	国内の企業を研究し幅広い就活に向けた準備	1 後 2 通	672	42	○			○		○		
9																
10																
合計						9科目		1504単位時間 (94単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件は卒業規程単位の取得・卒業制作の合格条件を満たすこと。 履修方法は各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。